

私の未来プロジェクト事業

子どもの生活に関するアンケート 調査結果

2018 年度

旭川ウェルビーイング・コンソーシアム

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

私の未来プロジェクト事業を実施するにあたり、同事業参加者の基礎的な情報として、参加児童・生徒の生活状況及び自己肯定感の状況を把握することを目的とした。

(2) 方法

各校での体験実施前の「事前アンケート」の一部として無記名自記式で実施した。対象者は、体験を実施した学校の児童・生徒とした。実施年月は平成30年7月～平成31年2月である。

質問内容は、①性別、②文化資本と社会関係資本など、③自己肯定感¹⁾の3つを大項目とし、①は1問、②は14問、③は8問（4件法）から構成した。

(3) 実施結果

回収結果については、回答者の性別／学年の内訳を含めて表1に示した。

小学生は1,084名（昨年度：1,124名）、中学生は1,263名（昨年度：1,354名）、そして高校生484名（昨年度：535名）の合計2,831名より回答を得た。

（報告書執筆）旭川大学保健福祉学部 栗田 克実

表1 回答者の属性

	合計	Q1性別			回答者計	
		男	女	無回答		
全体	2813 100.0%	1478 52.5%	1335 47.5%	18	2831	
学 年	小学3年	150 100.0%	76 50.7%	74 49.3%	4	154
	小学4年	281 100.0%	149 53.0%	132 47.0%	4	285
	小学5年	613 100.0%	293 47.8%	320 52.2%	9	622
	小学6年	23 100.0%	11 47.8%	12 52.2%	0	23
	中学1年	167 100.0%	83 49.7%	84 50.3%	0	167
	中学2年	5 100.0%	3 60.0%	2 40.0%	0	5
	中学3年	1091 100.0%	547 50.1%	544 49.9%	0	1091
	高校1年	483 100.0%	316 65.4%	167 34.6%	1	484
学 校 種 別	小学生	1067 100.0%	529 49.6%	538 50.4%	17	1084
	中学生	1263 100.0%	633 50.1%	630 49.9%	0	1263
	高校生（再掲）	483 100.0%	316 65.4%	167 34.6%	1	484

2. 調査結果

(1) 文化資本と社会関係資本

1) 本のある環境

「家には本がたくさんある」との問いに対して、全体では59.7%が「はい(ある)」と答えた。

性別でみると、女性で66.5%が「はい」と答えているのに対して、男性では54.1%にとどまっている。

学年別にみると、(回答者は5名であるが) 中学2年で「はい」が80.0%で最も高い割合であった一方、中学1年では52.7%まで低下した。

学校種別では、小学生64.5%、中学生55.2%、高校生60.9%であり、小学生が他より「はい」と答えた割合が高かった。

表2 本のある環境

		合計	q2-01家には本がたくさんある(マンガや雑誌は除く)			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体 (学年別集計の合計、以下同じ)		2820 100.0%	1684 59.7%	889 31.5%	247 8.8%	11
性別	男性	1474 100.0%	797 54.1%	540 36.6%	137 9.3%	4
	女性	1328 100.0%	883 66.5%	336 25.3%	109 8.2%	7
学年	小学3年	153 100.0%	110 71.9%	33 21.6%	10 6.5%	1
	小学4年	284 100.0%	190 66.9%	63 22.2%	31 10.9%	1
	小学5年	621 100.0%	381 61.4%	186 30.0%	54 8.7%	1
	小学6年	23 100.0%	16 69.6%	7 30.4%	0 0.0%	0
	中学1年	167 100.0%	88 52.7%	66 39.5%	13 7.8%	0
	中学2年	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0
	中学3年	1084 100.0%	601 55.4%	375 34.6%	108 10.0%	7
	高校1年	483 100.0%	294 60.9%	158 32.7%	31 6.4%	1
学校種別	小学生	1081 100.0%	697 64.5%	289 26.7%	95 8.8%	3
	中学生	1256 100.0%	693 55.2%	442 35.2%	121 9.6%	7
	高校生(再掲)	483 100.0%	294 60.9%	158 32.7%	31 6.4%	1

2) 個室の勉強部屋の有無

「自分一人の勉強部屋を持っている」との問いに対して、全体では73.2%が「はい(ある)」と答えた。

性別で見ると、男性で73.3%が「はい」と答えているが、女性(73.1%)とほぼ同じ値であった。

学年別にみると、中学2年の20.0%が最も低く、高校1年の85.7%が最も高い。

学校種別では、小学生の保有率は58.6%にとどまっているものの、中学生以上では80%を超えて、個室の保有率が高くなっている。

表3 勉強部屋(個人)の有無

		合計	q2-02自分一人の勉強部屋を持っている			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2828 100.0%	2069 73.2%	712 25.2%	47 1.7%	3
性別	男性	1477 100.0%	1083 73.3%	367 24.8%	27 1.8%	1
	女性	1333 100.0%	975 73.1%	338 25.4%	20 1.5%	2
学年	小学3年	153 100.0%	81 52.9%	68 44.4%	4 2.6%	1
	小学4年	285 100.0%	164 57.5%	119 41.8%	2 0.7%	0
	小学5年	622 100.0%	378 60.8%	227 36.5%	17 2.7%	0
	小学6年	23 100.0%	12 52.2%	9 39.1%	2 8.7%	0
	中学1年	167 100.0%	115 68.9%	48 28.7%	4 2.4%	0
	中学2年	5 100.0%	1 20.0%	4 80.0%	0 .0%	0
	中学3年	1089 100.0%	903 82.9%	175 16.1%	11 1.0%	2
	高校1年	484 100.0%	415 85.7%	62 12.8%	7 1.4%	0
学校種別	小学生	1083 100.0%	635 58.6%	423 39.1%	25 2.3%	1
	中学生	1261 100.0%	1019 80.8%	227 18.0%	15 1.2%	2
	高校生(再掲)	484 100.0%	415 85.7%	62 12.8%	7 1.4%	0

3) 家の人による勉強の促し

「家的人是に私にほとんど毎日「勉強しなさい」と言う」との問いに対して、全体では28.5%が「はい（言う）」と答えた。

性別でみると、男性の32.0%が「はい」と答えており、女性の24.6%を上回った。

学年別にみると、前問と異なり、おおむね学年（年齢）の上昇とともに「いいえ」の割合がおおむね高くなっている。「はい」と答えた割合は、前回調査と同様に、小学3年の49.7%が最も高い。

学校種別でみると、小学生では「はい」が34.8%、中学生では28.6%に低下し、高校生（＝本調査では高校1年）では14.3%となっている。

表4 家の人による「勉強しなさい」との促し

		合計	q2-03家的人是に、ほとんど毎日「勉強しなさい」と言う			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2827 100.0%	807 28.5%	1784 63.1%	236 8.3%	4
性別	男性	1477 100.0%	473 32.0%	861 58.3%	143 9.7%	1
	女性	1332 100.0%	328 24.6%	914 68.6%	90 6.8%	3
学年	小学3年	153 100.0%	76 49.7%	59 38.6%	18 11.8%	1
	小学4年	285 100.0%	96 33.7%	165 57.9%	24 8.4%	0
	小学5年	621 100.0%	199 32.0%	361 58.1%	61 9.8%	1
	小学6年	23 100.0%	6 26.1%	16 69.6%	1 4.3%	0
	中学1年	167 100.0%	58 34.7%	94 56.3%	15 9.0%	0
	中学2年	5 100.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%	0
	中学3年	1089 100.0%	303 27.8%	692 63.5%	94 8.6%	2
	高校1年	484 100.0%	69 14.3%	392 81.0%	23 4.8%	0
学校種別	小学生	1082 100.0%	377 34.8%	601 55.5%	104 9.6%	2
	中学生	1261 100.0%	361 28.6%	791 62.7%	109 8.6%	2
	高校生（再掲）	484 100.0%	69 14.3%	392 81.0%	23 4.8%	0

4) 家の人に勉強をみてもらおう

「家の人に勉強を見てもらったことがある」との問いに対して、全体の77.1%が「はい（ある）」と答えた。

性別で見ると、女性で81.4%が「はい」と答えており、男性の73.2%を上回った。

学年別にみると、中学2年の60.0%が最も低く、小学4年の93.7%が最も高い。

学校種別では、小学生全体で88.9%、中学生で71.1%、高校生で66.5%が家の人に勉強をみてもらった経験を有していた。

表5 家の人に勉強をみてもらった経験

		合計	q2-04家の人に勉強を見てもらったことがある			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2823 100.0%	2177 77.1%	538 19.1%	108 3.8%	8
性別	男性	1475 100.0%	1080 73.2%	329 22.3%	66 4.5%	3
	女性	1330 100.0%	1083 81.4%	205 15.4%	42 3.2%	5
学年	小学3年	151 100.0%	131 86.8%	16 10.6%	4 2.6%	3
	小学4年	285 100.0%	267 93.7%	15 5.3%	3 1.1%	0
	小学5年	621 100.0%	541 87.1%	62 10.0%	18 2.9%	1
	小学6年	23 100.0%	21 91.3%	2 8.7%	0 0.0%	0
	中学1年	167 100.0%	136 81.4%	24 14.4%	7 4.2%	0
	中学2年	5 100.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0
	中学3年	1088 100.0%	757 69.6%	273 25.1%	58 5.3%	3
	高校1年	483 100.0%	321 66.5%	144 29.8%	18 3.7%	1
学校種別	小学生	1080 100.0%	960 88.9%	95 8.8%	25 2.3%	4
	中学生	1260 100.0%	896 71.1%	299 23.7%	65 5.2%	3
	高校生（再掲）	483 100.0%	321 66.5%	144 29.8%	18 3.7%	1

5) 家の人に本を読んでもらった経験

「小さいころ、家の人によく本を読んでもらった」との問いに対して、全体では 59.4%が「はい(ある)」と答えた。

性別で見ると、女性で 63.2%が「はい」と答えており、男性の 56.0%を上回った。

この設問は、「小さいころ」と幼少期の記憶をたずねる回顧的設問であり、前年と同様に「わからない」との回答が多く、今回も 2 割を超えた。

学年別にみると、小学 4 年、高校 1 年の 62.8%が最も高く、中学 2 年の 40.0%が最も低く、小学 6 年においても 43.5%で半数を下回った。

学校種別で見ると、小学生が 58.5%、中学生が 58.9%、そして高校生が 62.8%であり、大きな差は見られなかった。

表 6 小さいころ家の人に本を読んでもらった経験

		合計	q2-05小さいころ、家の人によく本を読んでもらった			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2824 100.0%	1678 59.4%	525 18.6%	621 22.0%	7
性別	男性	1474 100.0%	826 56.0%	319 21.6%	329 22.3%	4
	女性	1332 100.0%	842 63.2%	203 15.2%	287 21.5%	3
学年	小学3年	153 100.0%	92 60.1%	30 19.6%	31 20.3%	1
	小学4年	285 100.0%	179 62.8%	38 13.3%	68 23.9%	0
	小学5年	619 100.0%	351 56.7%	114 18.4%	154 24.9%	3
	小学6年	23 100.0%	10 43.5%	4 17.4%	9 39.1%	0
	中学1年	167 100.0%	95 56.9%	28 16.8%	44 26.3%	0
	中学2年	5 100.0%	2 40.0%	0 0.0%	3 60.0%	0
	中学3年	1088 100.0%	645 59.3%	212 19.5%	231 21.2%	3
	高校1年	484 100.0%	304 62.8%	99 20.5%	81 16.7%	0
学校種別	小学生	1080 100.0%	632 58.5%	186 17.2%	262 24.3%	4
	中学生	1260 100.0%	742 58.9%	240 19.0%	278 22.1%	3
	高校生(再掲)	484 100.0%	304 62.8%	99 20.5%	81 16.7%	0

6) 規則的な起床（時刻）

「家の人、毎日、ほとんど決まった時間に起きる」との問いに対して、全体では75.1%が「はい（決まった時間に起きる）」と答えた。

性別で見ると、女性の75.9%が「はい」と答えており、男性の74.3%をやや上回った。

学年別にみると、前回と同じく高校1年の85.3%が最も高く、小学3年の63.2%が最も低く、低学年ほど「はい」と答える割合が低下した。

表7 家の人、毎日ほとんど決まった時間に起きる

		合計	q2-06家の人、毎日、ほとんど決まった時間に起きる			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2826 100.0%	2121 75.1%	374 13.2%	331 11.7%	5
性別	男性	1476 100.0%	1097 74.3%	211 14.3%	168 11.4%	2
	女性	1332 100.0%	1011 75.9%	158 11.9%	163 12.2%	3
学年	小学3年	152 100.0%	96 63.2%	29 19.1%	27 17.8%	2
	小学4年	284 100.0%	194 68.3%	48 16.9%	42 14.8%	1
	小学5年	622 100.0%	429 69.0%	98 15.8%	95 15.3%	0
	小学6年	23 100.0%	18 78.3%	3 13.0%	2 8.7%	0
	中学1年	167 100.0%	126 75.4%	19 11.4%	22 13.2%	0
	中学2年	5 100.0%	4 80.0%	0 0.0%	1 20.0%	0
	中学3年	1089 100.0%	841 77.2%	134 12.3%	114 10.5%	2
	高校1年	484 100.0%	413 85.3%	43 8.9%	28 5.8%	0
学校種別	小学生	1081 100.0%	737 68.2%	178 16.5%	166 15.4%	3
	中学生	1261 100.0%	971 77.0%	153 12.1%	137 10.9%	2
	高校生（再掲）	484 100.0%	413 85.3%	43 8.9%	28 5.8%	0

7) 食事を大切にしているか

「自分の家では食事を大切にしているか」との問いに対して、全体では70.4%が「はい（食事を大切にしている）」と答えた。その一方で、「わからない」との回答が多く21.2%であった。

性別で見ると、男性の72.4%が「はい」と答えており、女性の68.0%を上回った。

学年別にみると、「はい」と答えた者の割合は、中学2年の100%が最も高く、中学1年の68.3%が最も低い。

学校種別では、小中高校で大きな差は見られない（69.4%～71.9%）。

表8 自分の家では食事を大切にしている

		合計	q2-07自分の家では食事を大切に考えている			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2824 100.0%	1987 70.4%	237 8.4%	600 21.2%	7
性別	男性	1476 100.0%	1069 72.4%	138 9.3%	269 18.2%	2
	女性	1330 100.0%	905 68.0%	97 7.3%	328 24.7%	5
学年	小学3年	152 100.0%	106 69.7%	12 7.9%	34 22.4%	2
	小学4年	285 100.0%	214 75.1%	18 6.3%	53 18.6%	0
	小学5年	620 100.0%	425 68.5%	53 8.5%	142 22.9%	2
	小学6年	23 100.0%	19 82.6%	0 0.0%	4 17.4%	0
	中学1年	167 100.0%	114 68.3%	13 7.8%	40 24.0%	0
	中学2年	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0
	中学3年	1088 100.0%	756 69.5%	95 8.7%	237 21.8%	3
	高校1年	484 100.0%	348 71.9%	46 9.5%	90 18.6%	0
学校種別	小学生	1080 100.0%	764 70.7%	83 7.7%	233 21.6%	4
	中学生	1260 100.0%	875 69.4%	108 8.6%	277 22.0%	3
	高校生（再掲）	484 100.0%	348 71.9%	46 9.5%	90 18.6%	0

8) 近所付き合い

「自分を含め、家の人には近所付き合いを大切にしている」との問いに対して、全体では52.1%が「はい(大切にしている)」と答えた。この値は年々減少している。また、この設問では「わからない」が33.9%で昨年(34.0%)と同様に高い割合を示しており、近所付き合いに対して関心を抱いていない回答者が「わからない」と回答している可能性がある。

性別でみると、男性の52.5%が「はい」と答えており、女性の51.5%を上回った。

しかしながら、学年別にみると、小学4年で「はい」と答えた者が64.4%と最も高く(前年と同様)、最も低かったのは、中学2年の40.0%であった。

学校種別でみると、「はい」と答えている割合は、小学生で57.7%、中学生で47.6%、高校生では51.4%となっている。

表9 近所付き合いを大切にしている

		合計	q2-08自分を含め、家の人には近所づきあいを大切にしている			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2822 100.0%	1471 52.1%	394 14.0%	957 33.9%	9
性別	男性	1475 100.0%	774 52.5%	224 15.2%	477 32.3%	3
	女性	1329 100.0%	685 51.5%	169 12.7%	475 35.7%	6
学年	小学3年	152 100.0%	92 60.5%	24 15.8%	36 23.7%	2
	小学4年	284 100.0%	183 64.4%	19 6.7%	82 28.9%	1
	小学5年	622 100.0%	339 54.5%	63 10.1%	220 35.4%	0
	小学6年	23 100.0%	10 43.5%	2 8.7%	11 47.8%	0
	中学1年	167 100.0%	82 49.1%	23 13.8%	62 37.1%	0
	中学2年	5 100.0%	2 40.0%	0 0.0%	3 60.0%	0
	中学3年	1085 100.0%	514 47.4%	170 15.7%	401 37.0%	6
	高校1年	484 100.0%	249 51.4%	93 19.2%	142 29.3%	0
学校種別	小学生	1081 100.0%	624 57.7%	108 10.0%	349 32.3%	3
	中学生	1257 100.0%	598 47.6%	193 15.4%	466 37.1%	6
	高校生(再掲)	484 100.0%	249 51.4%	93 19.2%	142 29.3%	0

9) 地域住民との行事参加

「地域の人と一緒に行事に取り組んだことがある」との問いに対して、全体では59.2%が「はい(ある)」と答えた。

性別で見ると、男性の60.3%が「はい」と答えており、女性の58.1%を上回った。

学年別にみると、今回は高校1年の67.4%が最も高く、中学2年(40.0%)を除いて、いずれの学年も「はい(ある)」が半数を超えた。

学校種別で見ると、「はい」と答えている割合は、高校生では67.4%と最も高く、小学生では59.9%とその割合が低下し、中学生では55.5%となっている。

表 10 地域住民との行事参加

		合計	q2-09地域の人と一緒に行事に取り組んだことがある			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2825 100.0%	1673 59.2%	738 26.1%	414 14.7%	6
性別	男性	1476 100.0%	890 60.3%	366 24.8%	220 14.9%	2
	女性	1331 100.0%	773 58.1%	367 27.6%	191 14.4%	4
学年	小学3年	154 100.0%	77 50.0%	51 33.1%	26 16.9%	0
	小学4年	285 100.0%	184 64.6%	53 18.6%	48 16.8%	0
	小学5年	621 100.0%	373 60.1%	161 25.9%	87 14.0%	1
	小学6年	23 100.0%	15 65.2%	4 17.4%	4 17.4%	0
	中学1年	166 100.0%	96 57.8%	46 27.7%	24 14.5%	1
	中学2年	5 100.0%	1 20.0%	1 20.0%	3 60.0%	0
	中学3年	1087 100.0%	601 55.3%	318 29.3%	168 15.5%	4
	高校1年	484 100.0%	326 67.4%	104 21.5%	54 11.2%	0
学校種別	小学生	1083 100.0%	649 59.9%	269 24.8%	165 15.2%	1
	中学生	1258 100.0%	698 55.5%	365 29.0%	195 15.5%	5
	高校生(再掲)	484 100.0%	326 67.4%	104 21.5%	54 11.2%	0

10) 新聞への接触経験

「新聞を読んでいる」との問いに対して、全体では21.1%が「はい(ある)」と答え、前年より2.6%低下した。新聞を世帯で購読していない割合が高まっている可能性があり、新聞を読んでいると答える者の割合は年々低下している。

性別でみると、男性の23.0%が「はい」と答えており、女性の19.1%を上回った。

学年別にみると、前年調査と同じく半数を超えた学年はなく、小学6年が47.8%で最も高く、中学1年が16.8%で最も低かった。

学校種別でみると、小学生では25.3%、中学生では18.1%、高校生では19.8%が「新聞を読んでいる」と答えた。

表 11 新聞を読んでいる

		合計	q2-10新聞を読んでいる			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2824 100.0%	597 21.1%	2115 74.9%	112 4.0%	7
性別	男性	1475 100.0%	339 23.0%	1060 71.9%	76 5.2%	3
	女性	1331 100.0%	254 19.1%	1041 78.2%	36 2.7%	4
学年	小学3年	154 100.0%	39 25.3%	107 69.5%	8 5.2%	0
	小学4年	285 100.0%	83 29.1%	193 67.7%	9 3.2%	0
	小学5年	619 100.0%	140 22.6%	457 73.8%	22 3.6%	3
	小学6年	23 100.0%	11 47.8%	11 47.8%	1 4.3%	0
	中学1年	167 100.0%	28 16.8%	130 77.8%	9 5.4%	0
	中学2年	5 100.0%	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%	0
	中学3年	1087 100.0%	198 18.2%	846 77.8%	43 4.0%	4
	高校1年	484 100.0%	96 19.8%	368 76.0%	20 4.1%	0
学校種別	小学生	1081 100.0%	273 25.3%	768 71.0%	40 3.7%	3
	中学生	1259 100.0%	228 18.1%	979 77.8%	52 4.1%	4
	高校生(再掲)	484 100.0%	96 19.8%	368 76.0%	20 4.1%	0

11) 悩みを話せる相手の有無

「悩みを話せる人がいる」との問いに対して、全体では77.1%が「はい(いる)」と答えた。

性別でみると、女性の82.1%が「はい」と答えており、男性の72.6%を10%程度上回った。

学年別にみると、中学2年で100%と最も高く、小学6年、高校1年までは8割を超えている。一方、最も低かったのは、前回と同じく小学3年で73.4%であった。

学校種別にみると、小学生で77.2%、中学生で75.1%、高校生では81.8%が「悩みを話せる人がいる」と答えている。

表 12 悩みを話せる人がいる

		合計	q2-11悩みを話せる人がいる			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2827 100.0%	2179 77.1%	327 11.6%	321 11.4%	4
性別	男性	1477 100.0%	1073 72.6%	210 14.2%	194 13.1%	1
	女性	1332 100.0%	1094 82.1%	114 8.6%	124 9.3%	3
学年	小学3年	154 100.0%	113 73.4%	23 14.9%	18 11.7%	0
	小学4年	285 100.0%	226 79.3%	30 10.5%	29 10.2%	0
	小学5年	622 100.0%	479 77.0%	94 15.1%	49 7.9%	0
	小学6年	23 100.0%	19 82.6%	0 0.0%	4 17.4%	0
	中学1年	167 100.0%	132 79.0%	19 11.4%	16 9.6%	0
	中学2年	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0
	中学3年	1087 100.0%	809 74.4%	120 11.0%	158 14.5%	4
	高校1年	484 100.0%	396 81.8%	41 8.5%	47 9.7%	0
学校種別	小学生	1084 100.0%	837 77.2%	147 13.6%	100 9.2%	0
	中学生	1259 100.0%	946 75.1%	139 11.0%	174 13.8%	4
	高校生(再掲)	484 100.0%	396 81.8%	41 8.5%	47 9.7%	0

12) 現時点での定住意向

「このまちにずっと住みたい」との問いに対して、全体では46.6%が「はい（住み続けたい）」と答えた。前年の値（50.2%）より3.6%低かった。

性別で見ると、女性の48.8%が「はい」と答えており、男性の44.7%を上回った。

学年別にみると、小学3,6年では73.9%が「はい」と答えたが、高校1年では30.0%にとどまっており、「わからない」が36.2%で最も高かった。

学校種別で見ると、小学生で64.1%であったが、中学生では37.9%と大幅に低下した。

この設問では、中学生以上で「わからない」との回答が3割を超えている。

表 13 定住意識

		合計	q2-12このまちにずっと住みたい			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2825 100.0%	1316 46.6%	630 22.3%	879 31.1%	6
性別	男性	1474 100.0%	659 44.7%	350 23.7%	465 31.5%	4
	女性	1333 100.0%	644 48.3%	277 20.8%	412 30.9%	2
学年	小学3年	153 100.0%	113 73.9%	20 13.1%	20 13.1%	1
	小学4年	284 100.0%	203 71.5%	35 12.3%	46 16.2%	1
	小学5年	621 100.0%	360 58.0%	101 16.3%	160 25.8%	1
	小学6年	23 100.0%	17 73.9%	3 13.0%	3 13.0%	0
	中学1年	167 100.0%	82 49.1%	29 17.4%	56 33.5%	0
	中学2年	5 100.0%	3 60.0%	0 0.0%	2 40.0%	0
	中学3年	1088 100.0%	393 36.1%	278 25.6%	417 38.3%	3
	高校1年	484 100.0%	145 30.0%	164 33.9%	175 36.2%	0
学校種別	小学生	1081 100.0%	693 64.1%	159 14.7%	229 21.2%	3
	中学生	1260 100.0%	478 37.9%	307 24.4%	475 37.7%	3
	高校生（再掲）	484 100.0%	145 30.0%	164 33.9%	175 36.2%	0

13) 目標とする人の存在

「あなたには「あのような人になりたい」と思う人がいる」との問いに対して、全体では65.8%が「はい(いる)」と答えた。

性別で見ると、女性の71.2%が「はい」と答えており、男性の60.8%を上回った。

学年別にみると、中学2年が80.0%と最も高かった。一方、高校1年が64.8%で最も低かった。

学校種別で見ると、小学生では70.9%であるが、中学生では61.8%、高校生では64.8%が「はい」と答えており、前年と同じく小学生がやや高かった。

表 14 あのような人になりたい

		合計	q2-13あなたには「あのような人になりたい」と思う人がいる			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2824 100.0%	1859 65.8%	575 20.4%	390 13.8%	7
性別	男性	1474 100.0%	896 60.8%	378 25.6%	200 13.6%	4
	女性	1332 100.0%	949 71.2%	195 14.6%	188 14.1%	3
学年	小学3年	154 100.0%	104 67.5%	29 18.8%	21 13.6%	0
	小学4年	285 100.0%	209 73.3%	45 15.8%	31 10.9%	0
	小学5年	622 100.0%	440 70.7%	118 19.0%	64 10.3%	0
	小学6年	23 100.0%	16 69.6%	3 13.0%	4 17.4%	0
	中学1年	167 100.0%	120 71.9%	32 19.2%	15 9.0%	0
	中学2年	5 100.0%	4 80.0%	0 0.0%	1 20.0%	0
	中学3年	1085 100.0%	653 60.2%	251 23.1%	181 16.7%	6
	高校1年	483 100.0%	313 64.8%	97 20.1%	73 15.1%	1
学校種別	小学生	1084 100.0%	769 70.9%	195 18.0%	120 11.1%	0
	中学生	1257 100.0%	777 61.8%	283 22.5%	197 15.7%	6
	高校生(再掲)	483 100.0%	313 64.8%	97 20.1%	73 15.1%	1

14) 将来についての会話

最後に、「家の人と将来のことについて話すことがある」とたずねた。全体では 70.3%が「はい(ある)」と答え、前年よりやや低下した。

性別で見ると、女性の 73.8%が「はい」と答えており、男性の 67.5%を上回った。

学年別にみると、中学 2 年で 100%と最も高く、次に高校 1 年の 82.4%であった。一方、最も年齢が低い小学 3 年の 61.0%が最も低かった。

学校種別で見ると、小学生では 61.6%であるが、中学生では 73.1%と割合が高くなり、高校生では 82.4%が「はい」と答えた。

前年調査と同様に、学年(年齢)の上昇とともに、家族と将来のことを話す割合も高くなっている。

表 15 将来について家族との会話

		合計	q2-14家の人と将来のことについて話すことがある			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2827 100.0%	1987 70.3%	616 21.8%	224 7.9%	4
性別	男性	1476 100.0%	994 67.3%	370 25.1%	112 7.6%	2
	女性	1333 100.0%	984 73.8%	239 17.9%	110 8.3%	2
学年	小学3年	154 100.0%	94 61.0%	50 32.5%	10 6.5%	0
	小学4年	285 100.0%	178 62.5%	84 29.5%	23 8.1%	0
	小学5年	622 100.0%	380 61.1%	191 30.7%	51 8.2%	0
	小学6年	23 100.0%	16 69.6%	4 17.4%	3 13.0%	0
	中学1年	167 100.0%	101 60.5%	54 32.3%	12 7.2%	0
	中学2年	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0
	中学3年	1087 100.0%	814 74.9%	170 15.6%	103 9.5%	4
	高校1年	484 100.0%	399 82.4%	63 13.0%	22 4.5%	0
学校種別	小学生	1084 100.0%	668 61.6%	329 30.4%	87 8.0%	0
	中学生	1259 100.0%	920 73.1%	224 17.8%	115 9.1%	4
	高校生(再掲)	484 100.0%	399 82.4%	63 13.0%	22 4.5%	0

(2) 自己肯定感

1) やると決めたことは最後までやり通す

まず、「やると決めたことは最後までやり通す」についてたずねたところ、全体では56.4%が「ややあてはまる」と答え、最も高い割合を示した。「あてはまる(とても+やや)」(以下、「肯定的回答」)の割合は83.9%であり、前回調査とほぼ同じ値であった。

今までの調査にならい、「とてもあてはまる」を4点、「ややあてはまる」を3点、「あまりあてはまらない」を2点、「まったくあてはまらない」を1点としてスコア化したところ、全体では3.10(前年と同じ)となり、性別では、男性3.09、女性3.10と大きな差は見られなかったが、学年別では、少数サンプルではあるが中学2年が3.40で最も高く、高校1年の3.02と0.38点の開きがみられ、学年間の差は前年調査より拡大した。

学校種別でみると、小学生3.16、高校生3.02、中学生3.07となり、全体的に高い値を示しているといえる。

なお、これ以降スコア化された設問の論理的中間値は2.5である。

表 16 やると決めたことは最後までやり通す

		合計	q3-01やると決めたことは最後までやり通す				無回答	(平均スコア)
			とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
全体		2824 100.0%	778 27.5%	1594 56.4%	397 14.1%	55 1.9%	7	3.10
性別	男性	1477 100.0%	417 28.2%	807 54.6%	215 14.6%	38 2.6%	1	3.09
	女性	1329 100.0%	353 26.6%	778 58.5%	181 13.6%	17 1.3%	6	3.10
学年	小学3年	153 100.0%	72 47.1%	58 37.9%	16 10.5%	7 4.6%	1	3.27
	小学4年	285 100.0%	112 39.3%	142 49.8%	29 10.2%	2 0.7%	0	3.28
	小学5年	620 100.0%	161 26.0%	366 59.0%	80 12.9%	13 2.1%	2	3.09
	小学6年	23 100.0%	7 30.4%	11 47.8%	5 21.7%	0 0.0%	0	3.09
	中学1年	167 100.0%	44 26.3%	91 54.5%	30 18.0%	2 1.2%	0	3.06
	中学2年	5 100.0%	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	3.40
	中学3年	1087 100.0%	262 24.1%	653 60.1%	154 14.2%	18 1.7%	4	3.07
	高校1年	484 100.0%	118 24.4%	270 55.8%	83 17.1%	13 2.7%	0	3.02
学校種別	小学生	1081 100.0%	352 32.6%	577 53.4%	130 12.0%	22 2.0%	3	3.16
	中学生	1259 100.0%	308 24.5%	747 59.3%	184 14.6%	20 1.6%	4	3.07
	高校生(再掲)	484 100.0%	118 24.4%	270 55.8%	83 17.1%	13 2.7%	0	3.02

2) 私のことをわかってくれている人がいる

「私のことをわかってくれている人がいる」との問いでは、全体では50.1%が「とてもあてはまる」と答え 34.8%が「ややあてはまる」と答えた。これらをあわせた肯定的回答は84.9%であった。

スコア化したところ、全体では3.31（前年：3.33）であった。性別では、男性3.22、女性3.41と女性の方が0.19高く、これも前年と同じ傾向であった。

学年別では、中学2年が3.80で最も高く、中学3年が3.21で最も低かった。

学校種別でみると、小学生3.39、中学生3.31、高校生3.27となり、この設問に関しても全体的に高い値を示しているといえる。

表 17 私のことをわかってくれている人がいる

		合計	q3-02私のことをわかってくれている人がいる					(平均スコア)
			とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答	
全体		2822 100.0%	1413 50.1%	981 34.8%	328 11.6%	100 3.5%	9	3.31
性別	男性	1475 100.0%	662 44.9%	555 37.6%	185 12.5%	73 4.9%	3	3.22
	女性	1329 100.0%	742 55.8%	421 31.7%	139 10.5%	27 2.0%	6	3.41
学年	小学3年	153 100.0%	112 73.2%	19 12.4%	14 9.2%	8 5.2%	1	3.54
	小学4年	284 100.0%	177 62.3%	73 25.7%	20 7.0%	14 4.9%	1	3.45
	小学5年	621 100.0%	358 57.6%	177 28.5%	65 10.5%	21 3.4%	1	3.40
	小学6年	23 100.0%	13 56.5%	9 39.1%	1 4.3%	0 0.0%	0	3.52
	中学1年	167 100.0%	83 49.7%	64 38.3%	16 9.6%	4 2.4%	0	3.35
	中学2年	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	3.80
	中学3年	1086 100.0%	461 42.4%	428 39.4%	157 14.5%	40 3.7%	5	3.21
	高校1年	483 100.0%	205 42.4%	210 43.5%	55 11.4%	13 2.7%	1	3.26
学校種別	小学生	1081 100.0%	660 61.1%	278 25.7%	100 9.3%	43 4.0%	3	3.44
	中学生	1258 100.0%	548 43.6%	493 39.2%	173 13.8%	44 3.5%	5	3.23
	高校生（再掲）	483 100.0%	205 42.4%	210 43.5%	55 11.4%	13 2.7%	1	3.26

3) 今の自分を気に入っている

「今の自分を気に入っている」との間いでは、全体では 34.8%が「ややあてはまる」を、34.0%が「あまりあてはまらない」と答えた。なお、肯定的回答は 50.4%であった（前年調査と同値）。

スコア化したところ、全体では 2.53 であり、前年（2.52）とほぼ同じであった。性別では、男性 2.60、女性 2.46 と男性の方が 0.14 高く、女性の値は中間値を下回った。

学年別では、小学 3 年が 2.95 で最も高く、中学 3 年で 2.37 と最も低かった。

学校種別でみると、小学生 2.75、中学生 2.37、高校生 2.47 となり、この設問については前年度と同じく全体的に低い値を示している。

表 18 今の自分を気に入っている

		合計	q3-03今の自分を気に入っている					(平均スコア)
			とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答	
全体		2818 100.0%	467 16.6%	980 34.8%	957 34.0%	414 14.7%	13	2.53
性別	男性	1474 100.0%	290 19.7%	509 34.5%	470 31.9%	205 13.9%	4	2.60
	女性	1327 100.0%	171 12.9%	469 35.3%	481 36.2%	206 15.5%	8	2.46
学年	小学3年	152 100.0%	57 37.5%	50 32.9%	26 17.1%	19 12.5%	2	2.95
	小学4年	283 100.0%	80 28.3%	116 41.0%	50 17.7%	37 13.1%	2	2.84
	小学5年	620 100.0%	122 19.7%	231 37.3%	193 31.1%	74 11.9%	2	2.65
	小学6年	23 100.0%	6 26.1%	11 47.8%	4 17.4%	2 8.7%	0	2.91
	中学1年	166 100.0%	19 11.4%	51 30.7%	72 43.4%	24 14.5%	1	2.39
	中学2年	5 100.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	0	2.60
	中学3年	1086 100.0%	120 11.0%	354 32.6%	416 38.3%	196 18.0%	5	2.37
	高校1年	483 100.0%	62 12.8%	165 34.2%	195 40.4%	61 12.6%	1	2.47
学校種別	小学生	1078 100.0%	265 24.6%	408 37.8%	273 25.3%	132 12.2%	6	2.75
	中学生	1257 100.0%	140 11.1%	407 32.4%	489 38.9%	221 17.6%	6	2.37
	高校生（再掲）	483 100.0%	62 12.8%	165 34.2%	195 40.4%	61 12.6%	1	2.47

4) 私はやればできる人間だと思う

「私はやればできる人間だと思う」との問いでは、全体の38.9%が「ややあてはまる」と答え、73.8%が肯定的に回答した。

スコア化したところ、全体では3.02であった。性別では、男性3.06、女性2.99と男性の方が0.07高かった。

学年別では、小学6年が3.52で最も高く、中学3年で2.87と最も低い。この設問についても、(サンプル数の影響があると考えられるが、) 学年進行によりおおむね低下している傾向が認められた。

学校種別でみると、小学生3.21が最も高く、中学生2.88、高校生2.98であった。

表 19 私はやればできる人間だと思う

		合計	q3-04私はやればできる人間だと思う				無回答	(平均スコア)
			とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
全体		2815 100.0%	982 34.9%	1095 38.9%	558 19.8%	180 6.4%	16	3.02
性別	男性	1470 100.0%	561 38.2%	536 36.5%	269 18.3%	104 7.1%	8	3.06
	女性	1327 100.0%	412 31.0%	556 41.9%	287 21.6%	72 5.4%	8	2.99
学年	小学3年	152 100.0%	88 57.9%	40 26.3%	11 7.2%	13 8.6%	2	3.34
	小学4年	284 100.0%	149 52.5%	80 28.2%	40 14.1%	15 5.3%	1	3.28
	小学5年	619 100.0%	265 42.8%	212 34.2%	102 16.5%	40 6.5%	3	3.13
	小学6年	23 100.0%	14 60.9%	7 30.4%	2 8.7%	0 0.0%	0	3.52
	中学1年	167 100.0%	49 29.3%	68 40.7%	38 22.8%	12 7.2%	0	2.92
	中学2年	5 100.0%	3 60.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0	3.20
	中学3年	1083 100.0%	280 25.9%	456 42.1%	274 25.3%	73 6.7%	8	2.87
	高校1年	482 100.0%	134 27.8%	232 48.1%	89 18.5%	27 5.6%	2	2.98
学校種別	小学生	1078 100.0%	516 47.9%	339 31.4%	155 14.4%	68 6.3%	6	3.21
	中学生	1255 100.0%	332 26.5%	524 41.8%	314 25.0%	85 6.8%	8	2.88
	高校生(再掲)	482 100.0%	134 27.8%	232 48.1%	89 18.5%	27 5.6%	2	2.98

5) 難しいことにもくじけず頑張れる

「むずかしいことにもくじけずがんばれる」との間いでは、全体の46.3%が「ややあてはまる」と答え、肯定的回答は70.8%であった。

スコア化したところ、全体では2.90であった。性別では、男性2.93、女性2.86と男性の方が0.07高かった。

学年別では、小学4年が3.25で最も高く、小学6年で2.69と最も低かった。この設問についても、学年進行によりおおむね低下している傾向が認められた。範囲は0.56点であった。

学校種別でみると、小学生3.08、中学生2.77、高校生2.85であった。

表 20 難しいことにもくじけず頑張れる

		合計	q3-05むずかしいことにもくじけずがんばれる				無回答	(平均スコア)
			とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
全体		2815 100.0%	687 24.4%	1249 44.4%	727 25.8%	152 5.4%	16	2.88
性別	男性	1474 100.0%	384 26.1%	629 42.7%	367 24.9%	94 6.4%	4	2.88
	女性	1323 100.0%	296 22.4%	612 46.3%	357 27.0%	58 4.4%	12	2.87
学年	小学3年	153 100.0%	69 45.1%	56 36.6%	19 12.4%	9 5.9%	1	3.21
	小学4年	284 100.0%	118 41.5%	122 43.0%	31 10.9%	13 4.6%	1	3.21
	小学5年	619 100.0%	177 28.6%	293 47.3%	124 20.0%	25 4.0%	3	3.00
	小学6年	23 100.0%	10 43.5%	11 47.8%	2 8.7%	0 0.0%	0	3.35
	中学1年	167 100.0%	36 21.6%	73 43.7%	45 26.9%	13 7.8%	0	2.79
	中学2年	5 100.0%	0 0.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0	2.60
	中学3年	1085 100.0%	191 17.6%	472 43.5%	357 32.9%	65 6.0%	6	2.73
	高校1年	479 100.0%	86 18.0%	219 45.7%	147 30.7%	27 5.6%	5	2.76
学校種別	小学生	1079 100.0%	374 34.7%	482 44.7%	176 16.3%	47 4.4%	5	3.10
	中学生	1257 100.0%	227 18.1%	548 43.6%	404 32.1%	78 6.2%	6	2.74
	高校生(再掲)	479 100.0%	86 18.0%	219 45.7%	147 30.7%	27 5.6%	5	2.76

6) なんでも話せる友だちがいる

「なんでも話せる友だちがいる」との問いに対して、全体で 55.9%が「とてもあてはまる」と答え、83.4%が肯定的に回答した。

スコア化したところ、全体では 3.34 と高い値を示した。性別では、男性 3.25 (前年:3.32)、女性 3.43 (前年:3.45) と女性の方が 0.19 高い値を示した。

学年別では、小学6年が 3.57 で最も高く、最も低い値を示した中学3年でも 3.29 とあり、範囲は 0.28 点と狭かった。

学校種別でみると、小学生 3.39、中学生 3.30、高校生 3.33 で、あまり差がみられなかった。

表 21 なんでも話せる友だちがいる

		合計	q3-06なんでも話せる友だちがいる				無回答	(平均スコア)
			とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
全体		2818 100.0%	1576 55.9%	776 27.5%	310 11.0%	156 5.5%	13	3.34
性別	男性	1472 100.0%	760 51.6%	430 29.2%	179 12.2%	103 7.0%	6	3.25
	女性	1328 100.0%	803 60.5%	343 25.8%	130 9.8%	52 3.9%	7	3.43
学年	小学3年	153 100.0%	106 69.3%	22 14.4%	14 9.2%	11 7.2%	1	3.46
	小学4年	285 100.0%	184 64.6%	56 19.6%	34 11.9%	11 3.9%	0	3.45
	小学5年	620 100.0%	367 59.2%	137 22.1%	72 11.6%	44 7.1%	2	3.33
	小学6年	23 100.0%	14 60.9%	8 34.8%	1 4.3%	0 0.0%	0	3.57
	中学1年	166 100.0%	94 56.6%	48 28.9%	18 10.8%	6 3.6%	1	3.39
	中学2年	5 100.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0	3.40
	中学3年	1085 100.0%	555 51.2%	349 32.2%	117 10.8%	64 5.9%	6	3.29
	高校1年	481 100.0%	253 52.6%	155 32.2%	53 11.0%	20 4.2%	3	3.33
学校種別	小学生	1081 100.0%	671 62.1%	223 20.6%	121 11.2%	66 6.1%	3	3.39
	中学生	1256 100.0%	652 51.9%	398 31.7%	136 10.8%	70 5.6%	7	3.30
	高校生 (再掲)	481 100.0%	253 52.6%	155 32.2%	53 11.0%	20 4.2%	3	3.33

7) ありのままの自分が好き

「ありのままの自分が好きだ」との問いでは、全体では35.5%が「ややあてはまる」と答え、29.4%が「あまりあてはまらない」と答えた。肯定的回答は全体の58.1%にとどまった。

スコア化したところ、全体では2.69であった。性別では、男性2.70、女性2.68と男性の方が0.02高かったもののほぼ同じ値であった。

学年別では、小学4年が3.00で最も高く、この学年のみ平均値が3点台であった。一方で、小学6年で2.12と最も低かった。範囲は0.89点となり、自己肯定感をたずねる設問の中では最大であった。

学校種別でみると、小学生2.77、中学生2.65、高校生2.61であった。

表 22 ありのままの自分が好きだ

		合計	q3-07ありのままの自分が好きだ				無回答	(平均スコア)
			とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
全体		2807 100.0%	662 23.6%	981 34.9%	813 29.0%	351 12.5%	24	2.70
性別	男性	1469 100.0%	367 25.0%	514 35.0%	396 27.0%	192 13.1%	9	2.72
	女性	1321 100.0%	291 22.0%	464 35.1%	411 31.1%	155 11.7%	14	2.67
学年	小学3年	153 100.0%	55 35.9%	52 34.0%	21 13.7%	25 16.3%	1	2.90
	小学4年	282 100.0%	112 39.7%	93 33.0%	46 16.3%	31 11.0%	3	3.01
	小学5年	616 100.0%	152 24.7%	223 36.2%	164 26.6%	77 12.5%	6	2.73
	小学6年	23 100.0%	9 39.1%	10 43.5%	3 13.0%	1 4.3%	0	3.17
	中学1年	165 100.0%	37 22.4%	52 31.5%	55 33.3%	21 12.7%	2	2.64
	中学2年	5 100.0%	3 60.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0	3.00
	中学3年	1084 100.0%	198 18.3%	375 34.6%	368 33.9%	143 13.2%	7	2.58
	高校1年	479 100.0%	96 20.0%	176 36.7%	155 32.4%	52 10.9%	5	2.66
学校種別	小学生	1074 100.0%	328 30.5%	378 35.2%	234 21.8%	134 12.5%	10	2.84
	中学生	1254 100.0%	238 19.0%	427 34.1%	424 33.8%	165 13.2%	9	2.59
	高校生(再掲)	479 100.0%	96 20.0%	176 36.7%	155 32.4%	52 10.9%	5	2.66

8) 自慢できることがある

最後に「他の人に自慢できることがある」との問いでは、全体では31.4%が「ややあてはまる」と答え、29.5%が「とてもあてはまる」と答えた。肯定的回答は全体の60.9%であった。

スコア化したところ、全体では2.78であった。性別では、男性2.82、女性2.74と男性の方が0.08高かった。

学年別では、小学4年が3.08で最も高く、前問と同じく、この学年のみ平均値が3点台であった。一方で、小学3年で2.50と最も低かった。

学校種別でみると、小学生2.91、中学生2.72、高校生2.65であり、小学生が相対的に高かった。

表 23 他の人に自慢できることがある

		合計	q3-08他の人に自慢できることがある				無回答	(平均スコア)
			とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
全体		2818 100.0%	901 32.0%	853 30.3%	709 25.2%	355 12.6%	13	2.82
性別	男性	1473 100.0%	510 34.6%	440 29.9%	337 22.9%	186 12.6%	5	2.86
	女性	1327 100.0%	388 29.2%	409 30.8%	367 27.7%	163 12.3%	8	2.77
学年	小学3年	153 100.0%	66 43.1%	27 17.6%	24 15.7%	36 23.5%	1	2.80
	小学4年	282 100.0%	130 46.1%	75 26.6%	51 18.1%	26 9.2%	3	3.10
	小学5年	621 100.0%	254 40.9%	163 26.2%	123 19.8%	81 13.0%	1	2.95
	小学6年	23 100.0%	7 30.4%	8 34.8%	6 26.1%	2 8.7%	0	2.87
	中学1年	167 100.0%	51 30.5%	60 35.9%	41 24.6%	15 9.0%	0	2.88
	中学2年	5 100.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0	3.40
	中学3年	1085 100.0%	271 25.0%	330 30.4%	327 30.1%	157 14.5%	6	2.66
	高校1年	482 100.0%	119 24.7%	189 39.2%	136 28.2%	38 7.9%	2	2.81
学校種別	小学生	1079 100.0%	457 42.4%	273 25.3%	204 18.9%	145 13.4%	5	2.97
	中学生	1257 100.0%	325 25.9%	391 31.1%	369 29.4%	172 13.7%	6	2.69
	高校生(再掲)	482 100.0%	119 24.7%	189 39.2%	136 28.2%	38 7.9%	2	2.81

3. 自己肯定感の変化

佐藤(2009)は、自己肯定感(セルフエスティーム)について「自分自身の存在や生を基本的に価値あるものとして評価し信頼することによって、人は意欲的、積極的に経験を積み重ね、満足感を持ち、自己に対しても他者に対しても受容的でありうる」と自己への肯定的評価であるとしている²⁾。

全国学力・学習状況調査や『子ども・若者白書』などの自己肯定感に関する各種の調査結果において、日本の子どもの自己肯定感は低いと指摘され、自己肯定感を高めることが課題であるといわれている。中でも、日本の子どもの自己肯定感は諸外国に比べて著しく低いため、教育等を通して自己肯定感を高めることが何よりも重要な課題であるとも考えられている(松井2017)³⁾。

自己肯定感の高い子どもは精神的に安定し、何ごとにも意欲的で前向きに生きようとする傾向にあるが、低い子どもは精神的に不安定で、生活に充足感がなく、ちょっとしたことで動揺したり、傷ついたり、時には好ましくない行動にはしったりする傾向があるといわれている(横山2010)⁴⁾。

今年度は調査第4年度となり、表24(p.27参照)に過年度分を含めた自己肯定感の推移を示した。

自己肯定感の設問は、質的な選択肢を1~4点で数量化したものである(論理的中央値2.5)。

これらの質問項目について、大括りとの指摘はあるだろうが、本市における4年分の調査の全回答を合算し、全体スコアの高い順にみてもみた(有効回答:約10,500)⁵⁾。その結果、「何でも話せる友だちがいる」(全体3.36)、「私のことをわかっている人がいる」(同3.31)、「やると決めたことは最後までやり通す」(同3.10)「私はやればできる人間だと思う」(同3.01)の4項目が3点台であり、「難しいことにもくじけず頑張れる」(同2.90)、「他の人に自慢できることがある」(同2.80)、「ありのままの自分が好き」(同2.69)、「今の自分を気に入っている」(同2.52)が2点台であった。

これまで多くの研究からは、年齢の上昇とともに自己肯定感は低下することが指摘されており、本市におけるこれまでの調査においても、そのことはおおむね支持されたといえるだろう。しかし、この値をもって自己肯定感が低いと言い切るのには少々疑問を抱くところである。

澁谷(2005)は、「子どもの自信の獲得には体験を通して充実感や達成感、自分を価値ある存在として捉えられる自尊感情や自分自身の有用感などを感じる体験が必要である」と述べている⁶⁾。私の未来プロジェクト事業がもともとねらっている効果(特に、自己肯定感や人工妊娠中絶割合)は、すぐに数量化して確認できるものではないが、命の大切さについて考える極めて有用な体験である。

一方、報告書本体で、参加者に対して「将来、子どもをもちたい」かたずねた事前アンケートの結果が掲載されている。実施前よりも実施後の割合が高くなっており、事業の効果を確認することができるが、経年でみると、この「将来、子どもをもちたい」割合は年々低下しており、このことと本調査との関連について、第5年度で分析することとしたい。

【注】

- 1) 岩永定・柏木智子ほか (2013) 「子どもの自己肯定意識の実態とその規程要因に関する研究」『熊本大学教育学部紀要』第 62 号, pp. 101-108 を参考にした。
- 2) 佐藤淑子 (2009) 『日本の子どもと自尊心』中公新書, pp. 6-24
- 3) 松井香奈 (2017) 「小学校における自己肯定感を高める教育実践の検討：実践研究論文を手がかりとして」教育学研究論集 (12), p. 47
- 4) 横山正幸 (2010) 「子どもの自尊感情と体験の関係について」『日本生活体験学習学会誌』第 10 号, pp. 53-62
- 5) これらの回答の中には、本事業に小学・中学の 2 回参加したものも含まれている。
- 6) 澁谷健治 (2005) 「自然体験から自信を育てる」『児童心理』第 59 巻第 10 号, pp. 74-77

【参考文献】

- 栗谷初子・本間友巳 (2009) 「思春期の自己肯定感のあり方に影響を及ぼす要因について－学校生活適応感, 生活習慣との関係を中心に－」『京都教育大学教育実践研究紀要』第 10 号, p. 193

表 24 自己肯定感（得点）の推移

設問文¹⁾

q3_1 やると決めたことは最後までやり通す	「とてもあてはまる」4点 「ややあてはまる」3点 「あまりあてはまらない」2点 「まったくあてはまらない」1点
q3_2 自分のことをわかってくれている人がいる	
q3_3 今の自分を気に入っている	
q3_4 自分はやればできる人間だと思う	
q3_5 むずかしいことにもくじけずがんばれる	
q3_6 なんでも話せる友だちがいる	
q3_7 ありのままの自分が好きだ	
q3_8 他の人に自慢できることがある	

		q3_1	q3_2	q3_3	q3_4	q3_5	q3_6	q3_7	q3_8	合計	
小3	2015	3.21	3.33	2.64	3.32	3.32	3.41	2.70	2.79	24.7	
	2016	3.07	3.41	2.90	3.28	3.07	3.46	2.81	2.86	24.9	
	2017	3.16	3.30	2.80	3.29	3.13	3.34	2.83	2.50	24.3	
	2018	3.27	3.54	2.95	3.34	3.21	3.46	2.90	2.80	25.5	
小4	2015	3.25	3.59	2.85	3.36	3.29	3.62	3.09	3.15	26.2	
	2016	3.23	3.45	2.87	3.41	3.21	3.36	3.02	3.13	25.7	
	2017	3.28	3.49	2.87	3.24	3.25	3.40	3.00	3.08	25.6	
	2018	3.28	3.45	2.84	3.28	3.21	3.45	3.01	3.10	25.6	
小5	2015	3.15	3.28	2.66	3.21	3.07	3.35	2.70	2.85	24.3	
	2016	3.16	3.47	2.64	3.16	3.10	3.43	2.66	2.99	24.6	
	2017	3.13	3.38	2.62	3.11	3.01	3.44	2.69	2.92	24.3	
	2018	3.09	3.40	2.65	3.13	3.00	3.33	2.73	2.95	24.3	
小6	2015	3.07	3.37	2.34	2.77	2.73	3.27	2.57	2.87	23.0	
	2016	3.50	4.00	3.00	3.00	3.00	4.00	3.00	3.00	26.5	※
	2017	3.19	3.08	2.50	2.81	2.69	3.08	2.12	2.88	22.3	
	2018	3.09	3.52	2.91	3.52	3.35	3.57	3.17	2.87	26.0	
中1	2015	3.15	3.40	2.65	3.06	2.93	3.50	2.83	2.96	24.5	
	2016	3.03	3.29	2.49	2.91	2.86	3.41	2.71	2.91	23.6	
	2017	3.08	3.39	2.45	2.91	2.88	3.36	2.64	2.63	23.3	
	2018	3.06	3.35	2.39	2.92	2.79	3.39	2.64	2.88	23.4	
中2	2016	3.01	3.18	2.42	2.72	2.59	3.21	2.50	2.71	22.3	
	2017	3.11	3.39	2.46	3.00	2.94	3.33	2.87	2.77	23.9	
	2018	3.40	3.80	2.60	3.20	2.60	3.40	3.00	3.40	25.4	
中3	2015	3.04	3.23	2.30	2.86	2.76	3.36	2.61	2.75	22.9	
	2016	3.09	3.24	2.40	2.89	2.78	3.35	2.66	2.72	23.1	
	2017	3.03	3.29	2.41	2.84	2.74	3.40	2.64	2.73	23.1	
	2018	3.07	3.21	2.37	2.87	2.73	3.29	2.58	2.66	22.8	
高1	2016	3.07	3.24	2.47	2.95	2.81	3.29	2.70	2.73	23.3	
	2017	3.08	3.27	2.40	2.90	2.85	3.30	2.61	2.65	23.1	
	2018	3.02	3.26	2.47	2.98	2.76	3.33	2.66	2.81	23.3	
※：(2016/小6) 回答者2名											